

黎明インターンシップ通信 No.4

～ 感想交流 ～

平成 28 年 5 月 18 日

ソクラテスミーティングでは、働く大人との交流を通じて、様々な職業があり、いろいろな想いを持って働いている大人がいることが少し垣間見れたと思います。感想交流では、生徒一人ひとりが具体的にどのように感じたのかを、まずは自分で考え、グループで役割分担をしながら共有し、クラス内で発表しました。

105 組の右近力君、春日柚樹也君は、「エイビス・伊藤社長の指示されるより指示する大人になれると良い」という言葉が心に刺さったと記入。大林広志君は船坂さんの話が印象に残ったとか。どんな話？と聞いたところ、「う～ん、忘れた・・・」と。船坂さんは「自己決定の大切さ」を話してくれていましたが、まずは『船坂さんという大人に出会った』という印象が残るだけでも良かった！！



川人航輝君（105 組）は三重フットサルクラブの永谷さんの「悩むよりやってみる」という言葉に触発され、軽音部にも入り、茶道と掛け持ちをし始めました！

「TV では分からない海外のことが分かった。自分で決めたことは諦めずにする。」とグループを代表して発表してくれた 105 組・平野羽海さん。賑やかなメンバーの中でもしっかりまとめて発表してくれました。

④働くうえで必要だと感じたことは何ですか？

105 組生徒の記述

助け合い。協力。
親への恩返りの気持ち。
目標を達成するためには努力が必要だ。
情熱、やる気、仕事を好きになり、やりがいを見つけた時。

発表者となった、104 組・後藤魁君。おもしろい事言うよと、メンバーに宣言！発表後に自分から、「これって名言じゃね？」とコメント。名言かどうかはよくわかりませんが、立派に発表してくれました。



発表内容について、杉浦先生に突っ込まれ、言葉を失った山下翔矢君（104 組）。すぐに同じグループの松本響君がフォローしてくれました。サンキュー！



104 組の一部の女子からは、スポーツに興味ないから、今回の講師は、「あまり共感できないなあ。」と正直な感想も有りました。正直で良いですよ。



探究基礎の流れ

キックオフミーティング

コミュニケーション講座

ソクラテスミーティング

★感想交流

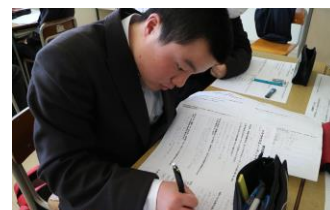
インターンシップ希望調査

エントリーシート

マナー講座

インターンシップ

お礼状作成



脇目も振らずに用紙にピシッリ書いている 105 組・近藤勇太君。

次回は・・・「インターンシップ希望調査」